

少年の立ち直り・健全育成

大学生ボランティア募集中!!



応募・お問い合わせは、最寄りの都道府県警察へ

- 紹介した活動は一例で、全国でさまざまな立ち直り支援活動を行っています。
- 具体的な活動内容や募集方法については、最寄りの都道府県警察にお問い合わせください。

都道府県警察連絡先一覧

北海道地方	北海道	①北海道警察本部少年課	①011-251-0110 (内線 3077.3078)	
		②北海道警察函館方面本部生活安全課	②0138-31-0110 (内線 3027)	
		③北海道警察旭川方面本部生活安全課	③0166-35-0110 (内線 3073)	
		④北海道警察釧路方面本部生活安全課	④0154-25-0110 (内線 3073)	
		⑤北海道警察北見方面本部生活安全課	⑤0157-24-0110 (内線 3064)	
東北地方	青森	青森県警察本部少年課企画指導係	017-723-4211 (内線 3072.3073)	
		岩手県警察本部少年課少年サポートセンター	019-653-0110 (内線 3083.3085)	
		宮城県警察本部少年課少年補導係	022-221-7171 (内線 3083)	
		秋田県警察本部少年女性安全課少年サポートセンター	018-863-1111 (内線 3093)	
		山形県警察本部少年課少年サポートセンター	023-626-0110 (内線 3081)	
関東地方	福島	福島県警察本部少年課少年補導係	024-522-2151 (内線 702-3083)	
		警視庁	警視庁少年育成課少年対策係	03-3581-4321 (内線 703-30632)
		茨城県警察本部少年課少年サポートセンター	029-301-0110 (内線 753-323)	
		栃木県警察本部少年課少年サポートセンター	028-621-0110	
		群馬県警察本部少年課少年育成センター	027-221-1616	
中部地方	埼玉	埼玉県警察本部少年課補導育成第二係	048-832-0110 (内線 3113)	
		千葉県警察少年センター	043-201-1308	
		神奈川県警察本部少年育成課少年相談運用係	045-211-1212 (内線 3104.3105)	
		新潟県警察本部少年課補導係	025-285-0110 (内線 3081)	
		山梨県警察本部少年女性安全対策課	055-221-0110 (内線 3081.3083)	
		長野県警察本部少年課少年サポートセンター	026-233-0110	
		静岡県警察本部少年課少年サポートセンター係	054-271-0110	
		富山県警察本部少年課少年サポート係	076-441-2211 (内線 3076)	
		石川県警察本部少年課少年サポートセンター	076-225-0777	
		福井県警察本部少年女性安全課企画指導係	0776-22-2880 (内線 3074)	
近畿地方	岐阜	岐阜県警察本部少年課少年補導係	058-271-2424 (内線 3083)	
		愛知県警察本部少年課少年サポートセンター 少年サポート第一係	052-951-1611 (内線 3085)	
		三重県警察本部少年課少年サポートセンター	059-222-0110 (内線 3083)	
		滋賀県警察本部少年課大津少年サポートセンター	077-521-5735	
		京都府警察本部少年課少年サポートセンター	075-551-7801	
中国地方	大阪	大阪府警察本部少年課少年育成総括担当	06-6943-1234 (内線 30773)	
		兵庫県警察本部少年課少年サポートセンター	078-341-7441 (内線 3082)	
		奈良県警察本部少年課少年サポートセンター	0742-23-0110 (内線 3075)	
		和歌山県警察本部少年課少年サポート係	073-423-0110 (内線 3076)	
		鳥取県警察本部少年課企画担当	0857-23-0110	
四国地方	島根	島根県警察本部少年女性対策課少年サポートセンター係	0852-26-0110	
		岡山県警察本部少年課岡山少年サポートセンター	086-223-7069	
		広島県警察本部少年課少年サポートセンター	082-228-0110	
九州・沖縄地方	山口	山口県警察本部少年課企画係	083-933-0110	
		徳島県警察本部少年サポートセンター	088-622-3101 (内線 3081)	
		香川県警察本部少年課少年サポートセンター	087-833-0110 (内線 3075)	
		愛媛県警察本部少年課少年サポートセンター	089-934-0110 (内線 3113.3110)	
		高知県警察本部少年サポートセンター	088-825-0110	
九州・沖縄地方	福岡	福岡県警察本部少年課補導環境係	092-641-4141 (内線 3077.3078)	
		佐賀県警察本部人身安全少年課少年サポートセンター	0952-24-1111 (内線 3083.3084)	
		長崎県警察本部少年課少年サポートセンター	095-820-0110	
		熊本県警察本部少年課肥後っ子サポートセンター	096-381-0110 (内線 3085)	
		大分県警察本部少年課サポートセンター係	097-532-3741	
		宮崎県警察本部少年課少年サポートセンター	0985-31-0110	
		鹿児島県警察本部少年課少年サポートセンター	099-206-0110 (内線 3075.3076)	
沖縄県警察本部少年課少年サポートセンター	098-862-0110 (内線 3092.3093)			

少年の立ち直り・健全育成

大学生ボランティア

募集



私たちの参加が未来をつくる!!



自分にあったペースで活動できます! /

警察庁

少年の非行防止と健全育成を図るため、学習支援、スポーツ活動、農業体験などを通じた立ち直り支援活動等を行います。

少年の立ち直り・健全育成を支援する「大学生ボランティア」の活動内容



少年の立ち直り・健全育成 大学生ボランティアとは？

警察では、少年の非行防止と健全育成を図るため、関係機関・団体、地域社会と連携して、学習支援や各種体験活動などによる立ち直り支援を行っています。特に大学生ボランティアは、少年と年齢が近く、これらの活動を通じて信頼関係が構築され、少年の立ち直りに重要な役割を果たしています。



学習支援

不登校などで遅れてしまった勉強や、これから受験を控えている少年たちの勉強をサポートします。



スポーツ活動

チームワークを必要とするスポーツを通じて、少年たちと共に汗を流し絆を深めます。



農業体験

日常では経験できない農業を協力して行うことで、少年たちとのコミュニケーションを図ります。



料理体験

少年たちと一緒に料理を作ること、やりがいや達成感を得ます。



社会奉仕活動

少年たちと共に、落書き消しや清掃活動など、身近でできる活動を行います。



非行防止活動

学校などで、少年たちの規範意識を育むための活動を行います。



街頭補導活動

繁華街などにおいて、少年たちに対して声をかけ、指導・助言を行います。



広報啓発活動

街頭でのキャンペーンなどを通じて、少年非行・被害の防止に協力を呼びかける活動を行います。



自分にあったペースで活動できます！

●この他にも、全国でさまざまな活動を行っています。



あんなことに気づいた！

さまざまな体験活動を通じて、少年たちとのコミュニケーションが増え、少年たちにとって心のよりどころとなる居場所づくりの大切さを実感しました。

最初は少年たちとコミュニケーションをとるのが難しいのではないかと不安に思っていたのですが、次第に笑顔でコミュニケーションをとりながら活動を楽しむことができました。



こんなことを感じた！

自分の特技や大学の専攻を生かしながら活動できる場所がこのボランティアの面白さだと感じています。

大学生ボランティアの 声

実際に活動されている大学生ボランティアの皆さんの声を紹介します。

一つ一つのボランティア活動の意義や自分の立場と少年との関わりをしっかりと意識して活動することで、少ない回数でも豊かな経験ができます。

少年たちと年齢が近いことを生かし、自分が子供時代に何を考え、大人に何を期待していたか当時のことを思い出しながら活動しています。

※平成29年度「全国少年警察学生ボランティア研修会」発表より



大学生ボランティア体験記

少年たちと共に自分も大きく成長できる

私は、大学で子供を対象としたボランティア活動をしたり、アルバイトで塾の講師をしたりするなど、とにかく子供が好きです。大学でのボランティア活動とは別に、私の住んでいる地元の子供たちのために何かしたいと思ったことがきっかけで、この活動に参加しました。学習支援で、中学3年の女子生徒を担当しましたが、最初は全く目を合わせようとはしませんでした。彼女に「この人だったら話を聞いてくれる」という安心感を持ってもらうため、当たり前のことかも知れませんが、傾きながら、目を見ながら話を聞くことを心掛けました。また、彼女から「絵を描くことが好き」と聞いたので、

勉強だけではなく、絵しりとりなどの遊びを取り入れたりもしました。

5か月が過ぎた頃、彼女は自分から家庭や進路の悩みについて話をしてくれるようになり、そのような彼女の変化に大変嬉しく思いました。少年サポートセンターの方からも「学習支援が始まってから彼女の表情が変わった。とても明るくなって将来像が描けるようになった」と感謝されました。

彼女への学習支援を通じて、3つのことに気がきました。一つ目は、人との関わりを避けているように見える子供でも、本当は関わりを求めていること。二つ目は、何がきっかけで、子供は変化すること。三つ目は、困ったり悩んだりしているときこそ思いを聞いて、一緒に伴走する人が必要だということです。

とても貴重な経験ができ、少年警察ボランティアをしてよかったと思っています。

※平成29年度「全国少年警察学生ボランティア研修会」発表より